

大船渡発

警察署で「こいのぼり」

大船渡警察署で子どもたちの健やかな成長と交通安全を願ってこいのぼりが揚げられました。これはこの時期に子どもたちの成長と交通安全を願って行っている20年以上続く伝統行事です。この日は立根保育園の園児25人が参加。子どもたちは「そーれ、そーれ」と声をかけながら元気いっぱいこいのぼりを掲げました。(4/26 ニュース)



陸前高田発

電動バイクのレンタル事業

陸前高田市はこの秋、ペダル付きの電動バイクを使ったレンタル事業を始めることになり、バイクの公開と試乗会が行われました。観光客のほか高齢者の移動手段にもつなげようという試みです。原付電動バイクは1台およそ15万円で、市が環境省の補助事業を活用して5台購入しました。市は将来的に複数が乗車できる電動バイクを使い、高台での住まいの再建が進む市内で高齢者も利用できる移動手段へとつなげたい考えです。(4/26 ニュースエコー)



陸前高田発

アバッセ 1周年感謝祭

震陸前高田市で去年開業した複合商業施設でオープン1周年を記念する「誕生祭」が始まりました。去年のアバッセたかたが開業した時、かさ上げされた中心部にはまだほとんど建物は建てられていませんでした。一年経ち周辺には15店舗が店を再建し、少しずつ新しい「まち」の形が見えてきました。アバッセたかた専門店街にはこの1年間でおおよそ30万人が訪れ、陸前高田の商業者たちは今も復興への歩みを進めています。(4/27 ニュースエコー)



釜石発

「湾口防波堤」が完成

東日本大震災の津波で破壊され3月に復旧工事が完了した釜石港の湾口防波堤を国や県、市の関係者が見学しました。釜石港の湾口防波堤は2008年に完成しましたが東日本大震災で66あったケーソンのうち44が倒壊し、翌年から復旧工事が進められていました。一行は震災クラスの巨大津波にも耐えるとした工事の概要を聞きながら、世界有数の規模を誇る施設を間近に見ていました。(4/30 ニュース)



宮古発

フェリーターミナル視察

宮古と北海道・室蘭を結ぶフェリーの開設まで50日余り。宮古では玄関口となるフェリーターミナルの建設が進んでいます。きょうは地元の子どもたちが船に乗り込み海から工事の様子を見学しました。宮古市の藤原ふ頭。建設工事が進む3階建ての建物が宮古港のフェリーターミナルです。総事業費は12億円で県内初の定期フェリー航路、海の玄関口です。宮古と室蘭を結ぶフェリーは6月22日、宮古発を第一便に運航されます。(5/1 ニュースエコー)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 隔週水曜日放送)

今週は大船渡FMねまらいんの及川透子さんが、「まちや蚤の市」について伝えてくれました。4月29日をもって、住民交流拠点施設まちや世田米駅はオープン2周年を迎えるとの事。いま全国的にも話題となっている「まちライブラリー」もプレオープンします。地元の人たちが読まなくなった本を持ち寄って出来た小さな図書館で、昔の蔵を活用して作られています。小学生やお年寄りの交流の場になってくれればと話していました。(4/25)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122